



# スキャン計画に役立つ機能 スキャンモード

みなさんは、3相撮影をしたら3相分の画像がすべて同じシリーズに入り込んでしまったという経験はありませんか？これはスキャンモードの選択によって回避することができます。

## ■スキャンモード Helical

スキャンモード Helicalでは、複数行にわたって選択され、かつCEマークのON/OFFや再構成条件が同じ場合に画像が同じシリーズへ保存される特徴があります。

No.	相	開始時刻	停止時刻	開始位置	終了位置	1行/1列	1行/高	NA	D-FOV (G-FOV)	1行/速度 (Total)	再構成時間 (min)	プロシ	補正		
1	P	00:20.0	05.0	0.0	2500	Helical	100	R 400	2500 (L)	05 (47)	05 (40.0)	2500	R	2500	ON
2	A	01:50.0	30.3	0.0	2500	Helical	100	R 400	2500 (L)	05 (47)	05 (40.0)	2500	R	2500	ON
3	A	03:00.0	105.2	0.0	2500	Helical	100	R 400	2500 (L)	05 (47)	05 (40.0)	2500	R	2500	ON

## ■スキャンモード GG-Heli

スキャンモード GG-Heliでは、複数行にわたって選択され、CEマークのON/OFFや再構成条件が同じ場合でも撮影ごとに別々のシリーズへ保存される特徴があります。

No.	相	開始時刻	停止時刻	開始位置	終了位置	1行/1列	1行/高	NA	D-FOV (G-FOV)	1行/速度 (Total)	再構成時間 (min)	プロシ	補正		
1	P	00:20.0	05.0	0.0	2500	GG-Heli	100	R 400	2500 (L)	05 (47)	05 (40.0)	2500	R	2500	ON
2	A	01:50.0	30.3	0.0	2500	GG-Heli	100	R 400	2500 (L)	05 (47)	05 (40.0)	2500	R	2500	ON
3	A	03:00.0	105.2	0.0	2500	GG-Heli	100	R 400	2500 (L)	05 (47)	05 (40.0)	2500	R	2500	ON

複数相撮影で1相ごとにシリーズを分けて保存したいときは、スキャンモード GG-Heliを選択して撮影しましょう。

※GG-Heli・・・Go&Go Helicalの略。スキャンモード GG-Heliを選択すると、自動的に2行分のスキャン計画が立ち上がります。スキャンモード選択時は2行とも同じ撮影方向が設定されます。

GR-Heli・・・Go&Return Helicalの略。スキャンモード GR-Heliを選択すると、自動的に2行分のスキャン計画が立ち上がります。スキャンモード選択時はそれぞれ反対向きの撮影方向が設定されます。

※上記はAlexionV4.75での画面で、装置・バージョンにより操作が異なる場合がございます。ご使用の装置での操作に関しては東芝CTアプリケーション担当までお問い合わせください。



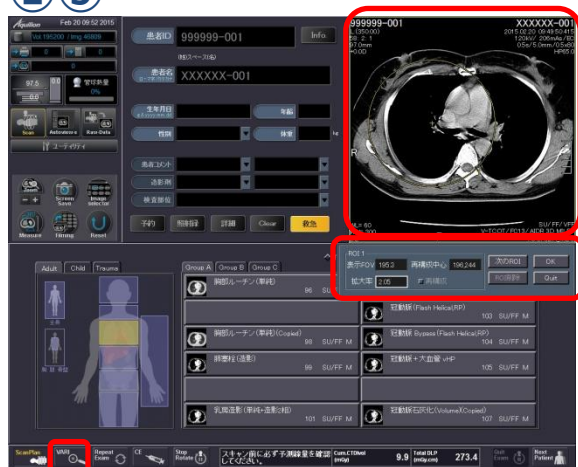
# スキャン計画に役立つ機能 VARIエリア

参照用のAxial画像1枚を使って拡大ROIを設定すると、以降のスキャン連動再構成画像がそのFOVで再構成される機能があります。ただし、[Next Patient]するまでが有効です。

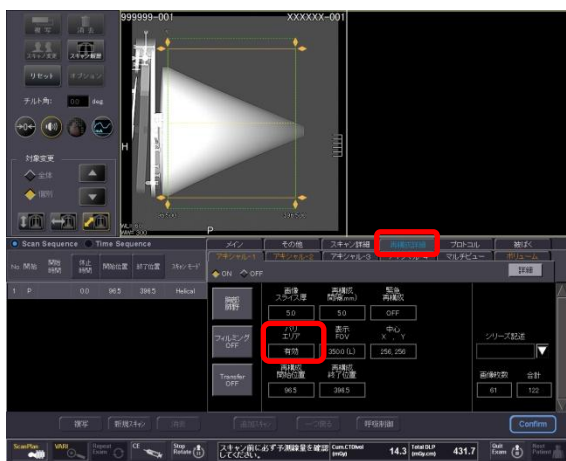
- ①参照になるAxial断面を撮影し、[Quit Exam]をクリックします。
- ②参照にしたいAxial断面を画面右上に表示させます。
- ③画面左下の[VARI]をクリックすると、Axial断面に拡大再構成用のROIが表示されます。大きさや位置、個数を設定してください。
- ④任意のエキスパートプランを起動し撮影すると、スキャン連動再構成画像には拡大再構成が適用されています。

※エキスパートプラン中、[再構成詳細]タブ内で『バリエリア』が無効になっている条件には反映されません。

②③



※



最近では装置の再構成時間も速いため使用される頻度が少ない機能ですが、冠動脈CTAを撮影の際、単純画像を参照にしてVARIエリアを設定し、造影画像をスキャン連動にて拡大再構成させるために使用されているご施設もあります。

※上記はAlexionV4.75での画面で、装置・バージョンにより操作が異なる場合がございます。ご使用の装置での操作に関しては東芝CTアプリケーション担当までお問い合わせください。